

「生体医工学」投稿規定

(1990年4月施行, 2005年3月改定)

生体医工学シンポジウム特集用
に一部修正

日本生体医工学会(日本エム・イー学会)では解説と原著論文の掲載を中心とした「生体医工学」を年4回(3, 6, 9, 12月)発行します。

「生体医工学」は従来の「医用電子と生体工学」を引き継ぐもので、2005年からは解説(特集)を主体に編集されていた「BME」と統合され、本学会の新たな総合誌として発行しています。原著論文としては、「研究」、「研究速報」、「資料」を掲載します。巻・号は「医用電子と生体工学」を継承します。

原稿は日本語で書かれたもの(一部の原稿を除く)に限り、執筆要項に従って書いてください。掲載の採否は「生体医工学」編集委員会で審議の上決定します。

1. 投稿資格

~~解説の原稿は原則として編集委員会より執筆の依頼を行ったものとします。原著論文の投稿は、本学会の会員・非会員を問いませんが、掲載時には少なくとも第1著者は会員であることを要します。なお、「研究」は論文賞の対象となりますが、掲載の次年度(授賞の年)も第1著者が会員でない場合は論文賞の対象から除外されます。~~

生体医工学シンポジウム特集においては、
会員/非会員は問いません。

2. 原稿の種類・内容および規定ページ

(1) 解説

~~生体医工学関連の技術や研究の最近の成果を主として特集形式で紹介するもので、このほかにコラム、リレー随筆、学会報告、書評などの記事も掲載します。規定ページは中略に定めて、その編集委員会が定めます。~~

生体医工学シンポジウム特集
においては、研究・研究速報
・資料に投稿できます。

(2) 研究

本学会の目的にかなった新しい研究成果を発表するもので、内容の客観性が高く、他に未発表の原著論文とします。医学および工学の両者に関係のあることが望ましく、次の諸項を含むもの。i) 研究の目的とそれを応用した時の利益、ii) これまでの考え方や新しい考え方の差異、iii) 実験または演算などの結果の一例、iv) 検討の結果、など。〔刷り上がり6

ページ以内〕

(3) 研究速報

前項の「研究」とするほどまとまった形ではないが、新しい考え方の提案、新しい実験事実などで、早く発表する価値があると考えられるもの。〔刷り上がり4ページ以内〕

(4) 資料

機器、部品などの試験報告や設計資料などで、発表することが読者に役立つと考えられるもの。〔刷り上がり2ページ以内〕

3. 掲載料

~~解説などの依頼原稿は原則、無料とします。原著論文は、規定ページ以内は無料とし、超過ページの料金は別途定めます。なお、シンポジウム特集などの特別企画の場合は、掲載料を別途定めます。~~

生体医工学シンポジウム特集においては、
掲載料は1頁につき24,000円とします。

4. 投稿の手続き

原著論文の投稿に際しては、「生体医工学」巻末の執筆要項に従って論文を作成の上、投稿票、本文原稿、図表をPDFファイルとし、下記の「生体医工学」編集部へ送付してください(誓約書は別途郵送)。~~なお、郵送による投稿も受け付けます。投稿手続きの詳細は執筆要項に記載されています。~~

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16

(財)学会誌刊行センター内
「生体医工学」編集部

E-mail: tjsmbe@capj.or.jp

Tel 03-3817-5821 Fax 03-3817-5830

生体医工学シンポジウム
特集においては、
E-mailでの投稿のみ
受付いたします。

5. 著作権

「生体医工学」に掲載された論文の著作権および版権は(社)日本生体医工学会(日本エム・イー学会)に帰属します。ただし、本会が必要と認めた時あるいは外部からの引用の申請があった時は、編集委員会で審議し、掲載ならびに版権使用を認めることがあります。